

記入例

捨印

(様式 第4号の8)

農地法第4条第1項第7号の規定による転用届出書		農業委員会受付
下記によって農地（採草放牧地）を転用したいので、農地法第4条第1項第7号の規定によって届け出ます。 平成〇〇年〇〇月〇〇日 届出人(氏名) 聖籠 太郎 ㊞		平成 年 月 日
聖籠町農業委員長 様		整理番号

農地所有者の氏名を記入、㊞は認印で可。

工事着工は交付日以降。

4 転用計画	転用事由 「3 転用目的」と同じものを記入				
	その他	工事着工時期 平成〇〇年〇〇月〇〇日			
5 転用することによって生ずる付近の土地、作物、家畜及び生活環境等への被害防止施設の概要	転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事時期 平成△△年△△月△△日	施設名	棟数	面積
			増築 (住宅建設敷地)	1	50 (600)

建築物の面積がわかる場合は上段を、まだ確定していない場合は下段を参考にしてください。

5 転用することによって生ずる付近の土地、作物、家畜及び生活環境等への被害防止施設の概要
転用に際して行う被害防止策の概要を具体的に記入してください。
 (例)
「転用に際しては、土留等を行い(又はフェンス等を設置し)隣接農地には被害を与えません。」
「周囲は宅地化されており、隣接農地はありません。」等

1 届出者の氏名、住所及び職業等									
氏名	年齢	住所			職業				
聖籠 太郎	50	聖籠町大字諏訪山 1635-4			会社員				
2 土地の所在、地目、面積等									
土地の所在		地番	地目		面積	所有者		耕作者	
大字	字		登記簿	現況		氏名	住所	氏名	住所
諏訪山	苔沼	1000-1	田	田	600	聖籠 太郎	聖籠町大字諏訪山 1635-4	同左	
転用しようとする農地の大字、字、地番、地目を土地の登記事項証明を参考に記入。				現地の状態を記入する。作物を作っていない休耕状態の場合は、休耕田・休耕畑と記入。				休耕の時は「-」と表示。土地所有者と異なる場合は解約手続が必要。	
計		600 m ²		(田) 600 m ²		畑 m ²		採草放牧地 m ²	
3 転用目的		(例) 個人住宅建築敷地、事務所建築敷地、露天資材置場敷地、露天駐車場敷地等							

転用しようとする農地の大字、字、地番、地目を土地の登記事項証明を参考に記入。

現地の状態を記入する。作物を作っていない休耕状態の場合は、休耕田・休耕畑と記入。

休耕の時は「-」と表示。土地所有者と異なる場合は解約手続が必要。

現況地目で集計する。

添付書類

- 土地の位置を示す地図。(市街化区域が確認できる地図)
- 土地の登記事項証明。(全部事項証明書に限る)
- 届出に係る農地又は採草放牧地が、賃貸借の目的となっている場合には、その賃貸借につき法第18条の許可があったことを証する書面。

記載注意

- 氏名を自署する場合には、押印を省略することができるが、届出書記載事項の訂正は認められない。(届出書記載事項の訂正が必要な場合には、押印を要するもの)
- 関係者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の職・氏名を、「住所」の欄にその主たる事務所の所在を、「職業」の欄にその業務の内容をそれぞれ記載する。
- 「転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、事業又は施設の種類、数量及び面積、その事業又は施設に係る取水又は排水施設等について具体的に記入する。

聖農第 号
上記の届出については、平成 年 月 日に届出書が到達し、その効力が、その日に生じたので農地法施行令第3条第2項の規定により通知する。 平成 年 月 日 聖籠町農業委員長 ㊞

行政書士 記名捺印	
--------------	--